

大和公民館だより

発行者 大和公民館
〒409-1203 甲州市大和町初鹿野 1693-1
館長(有賀) [] 主事(三枝) []

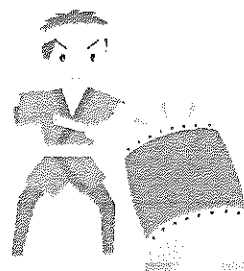
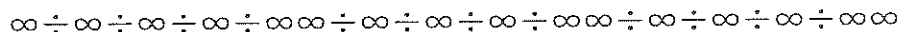
◇ 和太鼓教室開催のお知らせ

文化協会和太鼓部の協力で「和太鼓教室」を開催します。コロナ禍ではありますが広いスペースで太鼓をたたいてみませんか。誰でも参加できますがあらかじめ申し込みが必要です。なお、小学生以下は保護者が同伴してください。

※ 日 時 令和4年2月17日(木)及び3月3日(木) 午後8時から1時間

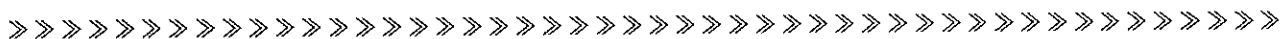
※ 場 所 大和小学校体育館

※ 申込期限 2月12日(土)までに、野澤明雄さん([])
にご連絡ください。



◇ グラウンドゴルフを楽しみませんか

グラウンドゴルフは誰でも気軽にできるスポーツです。大和地区では4月から11月まで、毎週木曜日の午前に大和スポーツ公園でプレーをしています。昨年は23人のメンバーが健康づくりと交流を深めながら活動しました。あなたも一緒にグラウンドゴルフを楽しみませんか。お問い合わせは、有賀文雄([])まで。



笹子峠の西の麓の伝説・民話

「横吹の杖突の清水」(よこぶきのつえつきのしみず)

昔、偉い坊さんが夏の日盛り焙烙横手を汗を拭き拭き横吹までやって来た。農家の前に手桶を持ったお婆さんがいたので、坊さんは水を一杯所望した。ところが、お婆さんは「今水瓶を掃除したばかりで一滴もないので汲みに行って来やすから、ちょっくら待っていてください」と手桶を担いでとことこ出かけた。

坊さんは、農家の縁側に腰を下して休んで待っていた。しかし、ちょっくらと云ったがお婆さんはなかなか帰ってこない。どうしたことかと不思議に思っていると、お婆さんが手桶を担いでやっこらさと帰って来た。「さあ、召し上がれ」と杓ごと差し出した。坊さんはゴクゴクと水を飲みほした。腸に沁みわたり、実にうまかった。

坊さんは、お婆さんが水汲みに行ったが大変時間がかかったので訳を尋ねた。お婆さんは、「この辺は水の便が悪く、どこの家でもこの先3丁ばかり東の観音沢か、下の大川まで降りて汲んでくるんだ」と話した。

「それは大変なことだ。水のお礼に愚僧が水を出して進ぜよう」と縁先の土を杖で突くと、水がこんこんと湧き出た。お婆さんを始め村人は大層喜んだ。そのことがあつて以来お婆さんの家を「清水」と呼ぶようになった。

— 平 山 植 太 —